

ぎふ感染症かわら版

令和5年10月26日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



咽頭結膜熱（プール熱）が流行しています！

岐阜県内全域での10/16～10/22（第42週）の患者報告数が、2007年以降で最も高い、1医療機関当たり1.60となり、地域別では特に岐阜圏域（2.63）が高くなっています。今後、さらに増加する可能性が考えられ、日常での感染予防対策をより一層お願いいたします。



どんな病気？

アデノウイルスによって起こる感染症で、5歳以下のお子さんに多くみられます。

感染してから5～7日後に発熱により発症し、のどの炎症（咽頭炎）によるのどの痛み、目の炎症（結膜炎）による目の充血や痛みなどの症状があらわれます。



どう感染するの？ 予防方法は？

原因となるアデノウイルスは、感染した人の鼻水や唾液、目やに、便の中に含まれます。咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染や、手指を介した接触感染により鼻やのど、目からウイルスが入り感染します。



昔はプールの水を介して流行しましたが、現在は消毒のため塩素濃度が適正に管理された学校や水泳教室のプールで感染が広がることはほとんどありません。



予防には、まず感染者との密接な接触を避け、日常においては、石けんを使った手洗いが大切です。流行している現状では、特にこまめな手洗いを心がけましょう。また、タオルは他の人と一緒に使わないようにしましょう。



※現在、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症など、複数の感染症への注意が必要な状況です。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

